



教育センターだより

平成25年6月25日 文責 高尾久美子

教育センターの役割

6月10日(月)に運営委員会が、及び第1回運営協議会が行われました。この会には、と教育センターの協議会委員15名が集まっています。



運営協議会に先立ち、運営委員長に、町校長である小立小学校渡邊一男先生が、副委員長に町P連会長の西浜小学校PTA会長渡辺安司さんが承認

されました。議事では、教育センター設立までの経過やこれまでの事業報告・事業の概要説明・規則等の確認をしました。センターの役割とは何かを考え、これからどのように進めたいのか、どのような意識でセンターを活用したらいいのかなどの意見をいただきました。これからのセンターの運営がスムーズに運べるように、各学校や関係機関との連携をさらに強めていきたいと思っております。

富士ビジターセンターでの学習会

センターでは、信仰の対象・芸術の源泉である富士山を、日本と日本の文化を象徴する「名山」として、次代を担う町の子どもたちが学び、考え、思いを寄せ、後世に引き継ぐことができる子になってほしいと願っています。そこで、子どもたちの「富士山学習」充実に向けて「富士山学習研究会」を設立し、組織的・計画的に関係機関と協力して取り組みを始めています。

6月20日(木)には、第2回富士山学習研究会をビジターセンターで行いました。まずは、ビジターセンター内にある富士山レンジャーの中本さんに富士山学習支援事業の説明をしていただきました。富士山レンジャーでは、環境学習会・体験型学習・出張講座など数々の支援活動を行っています。ぜひ、各学校での御活用をお願いします。

また、研究会では、今年度の富士山学習の取り組みとして以下の4点を掲げました。

- ・富士山学習のねらい・内容・計画を明確にする。
- ・富士山に関わる各学校で実践している学習をまとめて情報を共有する。
- ・富士山学習の年間計画を作成する。
- ・富士山学習の授業実践をする。

これらの学習を進めるのにあたってまずは、「富士山学習に向けてのアンケート」を作成しました。子どもたちが、富士山についてどんなことを知っているのか、これからどんな学習をしたいのかということがわかる内容です。このアンケート結果をふまえ、各学校で富士山学習をより充実して進められるようにと思っています。

